

# 色彩表現に優れたタオルケット

— タオルデザイン企画手法開発研究 (S45~) —

愛媛県産業技術研究所 繊維産業技術センター 主任研究員 石丸 祥司

3色のパイル糸を使用した色相重視のジャカード柄と、2色の地たて糸・よこ糸を使用した明暗重視のジャカード柄を組み合わせたデザインにより、色彩表現に優れたタオルケットを試作しました。

## 色彩パレット生地作成

箄の引き込みが|G' G P|のタオルケットにおいて、地組織を工夫することにより、パイル部分と地部分の両方にジャカード柄を展開することが可能となりました。18種類のパイル織組織による色彩とその各色彩ごとに異なる地組織を用いた4種類（低明度、中明度2種類、高明度）の明度段階を組み合わせて、合計72種類の色彩パレット生地（写真右下）を作成しました。

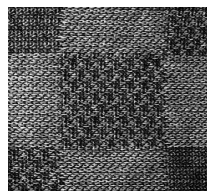


部分拡大（右写真A B）

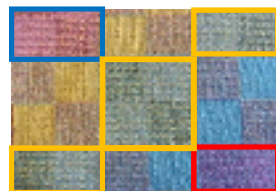
色彩パレット生地

## タオルケット製品の試作

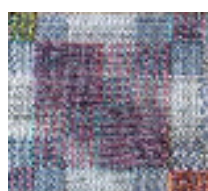
地部分のジャカード柄は、明暗の変化を分かりやすくするため市松柄で、地組織を3種類使用しました。パイル部分の柄では、色彩の多様さを表現するため、グラデーションで循環する色彩構成とし、12種類のパイル織組織を使用しました。あらかじめ作成しておいた色彩パレット生地を参照することにより、複雑な色彩効果を生む多色展開の織物のデザイン検討や配色検討、また製織後の修正作業が効率的にできました。



地織柄



パイル柄と地柄の併用による色彩効果



試作タオルケット

本研究により、パイル部分に3色毛違い組織を使用し、地部分に明度差を表現する織組織の開発を行うことで、新しい製織技術・デザイン手法を確立しました。また、この技術を他の商品に応用することによる新たな差別化商品開発の可能性が開けました。